

当院の竹内淳子医師（メンタルヘルス科診療部長）の
認知症に関する講演の記事が掲載されました

2012年（平成24年）9月25日（火曜日）（日刊）



デイリー東北新聞社
〒031-8601
八戸市城下一丁目3-12
電話0178(44)5111
印刷口津02300-6-4212
©デイリー東北新聞社2012



認知症患者と家族のトラブルをテーマにした寸劇が披露された大会—24日、三沢市

**認知症ケアの
質向上策探る**
三沢でグループ
ホーム協会東支
部
日本認知症グル
ープ
ホーム協会青森県支
部（下田肇会長）主催の
2012年度青森大会
兼東北ブロック大会が
24日、三沢市の星野リ
ゾート青森屋を会場に
2日間の日程で開催し
た。東北各地から約2
00人の介護事業関係
者が参加、講演など
を通じ、介護の質を高
める方策を探る。

初日は開会式に続い
て、十和田市立中央病
院メンタルヘルス科の
診療部長で、認知症を
テーマに今春、福祉・
介護従事者らと演劇団
体を旗揚げした竹内淳
子医師が講演した。

患者とその家族の物
忘れをめぐるトラブル
を題材とした寸劇を披
露。「患者に対して感
情的にならず、本人の
プライドを傷つけない
ような対応の仕方を家
族にアドバイスしてほ
しい」と助言した。

（内沢浩）

日 木曜日（日刊）



9月27日（木）
〒030-0180
青森市第二南町3丁目1番地
東奥日報社



認知症をテーマにした寸劇を披露する「じゅんちゃん一座」のメンバー

横 浜
講演や寸劇で
認知症を理解
保健協力員10人
上十三保健所管内保
健協力員連絡会（駒嶺
昭十会長）は25日、横
浜ふれあいセンター
で合同研修会を開い
た。管内8市町村で活
躍する保健協力員のう
ち、約130人が出席、
講演や寸劇などを通し
て認知症の早期発見や
対処方法などについて
学んだ。

十和田市立中央病院
メンタルヘルス科診療
部長の竹内淳子さん
が「知って得 認知症の
はなし」と題して講
演。竹内さんは「認知
症は誰でもなる可能性
がある病気、早期診
断、早期治療が重要」
とした上で、日常生活
で①同じ物ばかりを
買う②探し物をする時
間が長い③財布の中が
小銭だらけになる④な
どの人がいたら認知症
が疑わしいと説明し
た。

また、同病院の看護
師や十和田市内の介護
施設職員らで組織する
「じゅんちゃん一座」
が寸劇を披露。認知症
になったじゅんちゃん
が財布を置いた場所を忘
れて、誰かに盗まれた
と妄想するなど認知症
の症状や、家族の対応
の仕方などについてコ
ミカルに演じた。
（藤田幸雄）